

平成29年度 岩倉市市民討議会

「いわくらしやすい 旧学校給食センター跡地を考える！」

－ 実施報告書 －



平成30年1月
岩倉市

目 次

1	はじめに・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	1
2	市民討議会の概要・・・・・・・・・・・・・・・・	1~6
	(1)市民討議会とは	
	(2)開催経緯（テーマ選定）	
	(3)開催概要	
3	市民討議会での討議結果の概要・・・・・・・・	7~22
	(1)いわくらしやすい109の理由	
	(2)旧学校給食センター跡地活用 グループ押しアイデアベスト3	
	(3)跡地活用提案のまとめ及び2027年暮らしのスケッチ（物語）	
4	市民討議会報告会・・・・・・・・・・・・・・・・	23
5	まとめ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	23
【市民討議会資料編】		
1	参加者等アンケート集計結果・・・・・・・・	24~30
2	参加案内時不参加者アンケート・・・・・・・・	30~33
3	情報提供資料等・・・・・・・・・・・・・・・・	34~54
	(1)事前配布資料	
	(2)情報提供①資料	
	(3)講演資料	
	(4)情報提供②資料	
	(5)情報提供③資料	

1 はじめに

本報告書は、「いわくらしやすい 旧学校給食センター跡地を考える！」をテーマに岩倉市で初めて実施した市民討議会について、市民討議会の概要、提案概要、参加者アンケートの結果などをまとめたものです。

2 市民討議会の概要

(1) 市民討議会とは

市民討議会は、ドイツなどで取り入れられている、市民参加の手法「プラーヌクスツェレ（計画細胞）」をアレンジしたもので、無作為抽出で選ばれた市民の皆さんにまちづくりの課題などについて話し合っただき、そこで出された意見や提言をまとめ、行政の施策に活かしていこうとするものです。

本市では、これまで市政に興味はあるがなかなか参加の機会の少なかった市民が参加するきっかけとなり、新しい声を施策に反映できるという効果を期待して、平成28年4月施行の「岩倉市市民参加条例」にその手法を市民参加手続きの一つとして規定しました。

<市民討議会の特徴>

- ① 参加者は住民基本台帳から無作為で抽出した18歳以上の市民を対象とします。
- ② 参加者には積極的な参加と責任ある発言により討論していただくため謝礼を支払います。
- ③ テーマに知識のない方でも討議に参加できるよう専門家等からの情報提供を行います。
- ④ グループで討議した結果（提案）に対して全員が投票を行います。

(2) 開催経緯（テーマ選定）

本市では、平成28年7月に新学校給食センター（大地町）の建設が完了し、市北部の五条川沿い（八剣町）にある旧学校給食センターは稼働を停止し、調理場を始めとした施設が今もそのままの状態となっていました。

その旧学校給食センター跡地をどのように活用することが本市にとって望ましいのかを、検討するうえで、どのような市民参加の手法が望ましいのかを市で検討しました。その結果、旧学校給食センター跡地は、市民の皆さんに親しまれている五条川沿いにあり、周辺地域の住民でなくてもその活用についてイメージしやすく、本市にとって初めての市民討議会のテーマとして、最適ではないかと考え、市民討議会という手法を選択しました。



<旧学校給食センター>

(3) 開催概要

① テーマ

上記開催経緯のとおり、旧学校給食センター跡地活用の検討を第1の目的とし、加えて、本市が平成28年度から行っているシティプロモーション事業の市民参加型プロジェクトである「いわくらしやすい109の理由」を一緒に考えてもらうこととし、テーマを「いわくらしやすい 旧学校給食センター跡地を考える!」としました。

② 開催日程等

今回のテーマを考えたうえで、2日間程度の討議時間が必要であること、より具体的な討議、提案とするため、1日目と2日目の間に一定程度の間隔を空ける必要があると判断しました。

<日時>

1日目 平成29年 9月23日(土)

9時30分~16時

2日目 平成29年10月14日(土)

10時~16時

<場所>

岩倉市役所7階 大会議室

(旧学校給食センター現地も見学)

③ 参加者

定員を40人とし、住民基本台帳から無作為で抽出した18歳以上の市民2,000人を参加対象者として、参加案内を送付しました。そのうち80人の方が参加意向表明書を提出されました。

参加意向者が定員を超えたため、参加者の年齢構成を考慮し抽選を行い、参加者を決定し、当落の決定の通知を行いました。

その後、仕事や急用などもあり、結果として1日目の参加者は37人でした。また、2日目は1日目より2人減り、35人でした。

④ 謝礼

謝礼は、2日間の参加を条件に5,000円分のQUOカードとしました。

⑤ 討議会の企画運営

旧学校給食センター跡地活用の方針決定は、本市における重要課題であるため、秘書企画課を事務局としてプロジェクトチームを設置し検討を進めることになりました。また、本市にとって初めての市民討議会であることから、その企画と運営支援(主にグループファシリテーターの配置)について、一般社団法人 地域問題研究所に委託しました。

⑥ 具体的な討議内容等

<当日配付プログラム：1日目（9月23日）>

時間	内容
9：30～ (10分)	1. はじめに（オリエンテーション） ・市長あいさつ ・全体構成、進め方説明
9：40～ (10分)	2. 情報提供①市の概要について
9：50～ (25分)	3. 講演 テーマ「市民討議会って何、その意義は？」 講師：四日市大学 副学長 小林 慶太郎 氏
アイスブレイク～『いわからしやすい109の理由』	
10：15～ (45分)	4. アイスブレイク ・円座～二人一組（ペアゲーム）～名札づくり～4つの窓～「傾聴」とは？
休憩【11：00～11：10】	
11：10～ (50分)	5. バズトーク『いわからしやすい109の理由』 (1) 情報提供②プロジェクトの概要について (2) バズトーク (3) 発表 (4) 講評
休憩・昼食【12：00～12：45】	
討議－①：『旧学校給食センター跡地利用を考えよう！』	
12：45～ (30分)	1. 情報提供③岩倉市の公共施設等の概要と課題について ・旧学校給食センター跡地の概要について
13：15～ (50分)	2. 旧学校給食センター跡地ウォッチングツアー ・チェキによる写真撮影など
休憩【14：05～14：15】	
14：15～ (35分)	3. 跡地ウォッチング結果をまとめよう！ Step 1：ワークの進め方説明 Step 2：跡地ウォッチング気づきカードの記入【個人作業】 Step 3：跡地ウォッチングまとめ図への貼り出し（チェキペタペタ）【G作業】 Step 4：まとめ【G作業】
14：50～ (45分)	4. 跡地活用アイデアを出し合おう！ Step 1：ワークの進め方説明 Step 2：アイデアカードの記入【個人作業】 Step 3：アイデアカードを出し合おう！【G作業】 Step 4：グループ内で一押しアイデアベスト3を選定【G作業】
15：35～ (20分)	5. グループ発表
15：55～ (5分)	6. 講評 四日市大学 副学長 小林 慶太郎 氏
16：00～	7. 閉会

<1日目>

はじめに、「市の概要について」市から情報提供を行い、続いて、四日市大学の小林副学長から「市民討議会って何、その意義は？」と題して、市民討議会についての説明や参加者がどんなことに心掛ければ良いかなどわかりやすくご講演をしていただきました。

その後、スタッフ等も参加して、参加者の緊張を解き、リラックスして活発な討議となるようアイスブレイクを行いました。また、アイスブレイクの一環で、5人グループに分かれて、「いわくらしやすい109の理由」を皆さんで考え、グループでイチオシの提案を発表しました。



<四日市大学 小林副学長>



<アイスブレイク（自己紹介）の様子>

午後は、市から「岩倉市の公共施設等の概要と課題について」、委託先の地域問題研究所から「旧学校給食センター跡地の活用のあり方を考えていく上での大切な視点について」情報提供を行いました。その後、旧学校給食センター跡地の現地確認（ウォッチングツアー）により、跡地の活用イメージの具体化と課題の共有を行い、跡地の活用アイデアをたくさん出してもらい、「グループの一押しアイデアベスト3」を発表しました。



<現地確認の様子>



<グループ討議の様子>

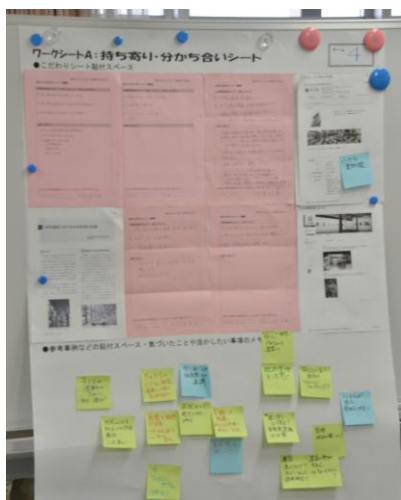
<当日配付プログラム：2日目（10月14日）>

時間	内容
討議：『旧学校給食センター跡地利用を考えよう！』	
10：00～ (5分)	1. はじめに（オリエンテーション） ・本日のプログラムの概要説明
10：05～ (5分)	2. 討議の前に一言 ・四日市大学 副学長 小林 慶太郎 氏
10：10～ (15分)	3. アイスブレイク
10：25～ (50分)	4. 活用アイデアを膨らませるための参考情報の「持ち寄り」・「分かち合い」ワーク Step 1：ワークの進め方説明 Step 2：第1日目（午後）のワーク結果の再確認 【G 作業】 Step 3：跡地活用を考えていくための参考資料確認 【G 作業】 Step 4：こだわりシートの持ち寄り・分かち合い 【G 作業】
11：15～ (50分)	5. 跡地活用プロジェクト提案概要を作成しよう！ Step 1：ワークの進め方説明 Step 2：提案を具体化するための意見を出し合おう！ 【G 作業】
12：05～ (10分)	6. 中間発表
休憩・昼食 【12：15～13：00】	
13：00～ (35分)	7. 跡地活用プロジェクト提案概要を作成しよう！（5の続き） Step 3：まとめ 【G 作業】
13：35～ (70分)	8. 跡地活用プロジェクト提案をわかりやすく説明するための資料をまとめよう！ 「旧給食センター跡地 2027 年暮らしのスケッチ」の作成 Step 1：作業の進め方 及び 例示の説明 Step 2：「物語カード」の記入 【個人作業】 Step 3：「ものがたりシート」に「物語カード」を貼り出す。 【G 作業】 Step 4：カードの絞り込み（3～5枚程度） 【G 作業】 Step 5：絞り込んだ「物語カード」をつなぎ合わせて物語風の文章に仕立て上げる。 物語まとめ用フリップ に記入。 1) 季節や時間帯ごとに分担して文案を作成 【個人作業】 2) チーム内で回し読み&修正タイム 【G 作業】
14：45～ (25分)	9. グループ発表
15：10～ (25分)	10. 提案に対する投票、まとめ講評 (1) 投票 (2) 実現に向けての自己宣言 (3) まとめ講評 四日市大学 副学長 小林 慶太郎 氏
15：35～	11. 閉会 ・今後の予定 ・アンケート ・記念撮影

<2日目>

2日目は、1日目の討議から3週間空いていること、また、新たなグループでの討議となるため、四日市大学の小林副学長から「討議の前に一言」として、1日目の振り返り等を話していただき、改めて、アイスブレイクを行いました。

その後、跡地の活用アイデアを膨らませるための参考情報の「持ち寄り・分かち合い」として、事前課題で参加者が各自調べてきた内容の共有などを行い、提案概要の作成、提案内容をわかりやすく説明するための資料作成に多くの時間を費やして行いました。



<持ち寄り・分かち合いシート>



<グループ討議の様子>

グループ全員でまとめた提案の内容を2027年暮らしのスケッチとあわせて発表し、参加者1人3票を良いと思う提案に投票しました。また、実現に向けた自己宣言「やる気のサクラサク桜の木」を作成しました。

最後に、四日市大学の小林副学長からまとめの講評をいただきました。



<やる気のサクラサク桜の木>

3 市民討議会での討議結果の概要

(1) いわくらしやすい109の理由（1日目：午前）

全体で約100件のアイデアや提案が出され、最終決定された「いわくらしやすい109の理由」に採用されたアイデアもありました。

なお、9つのグループのイチオシ提案は以下のとおりでした。（順不同）

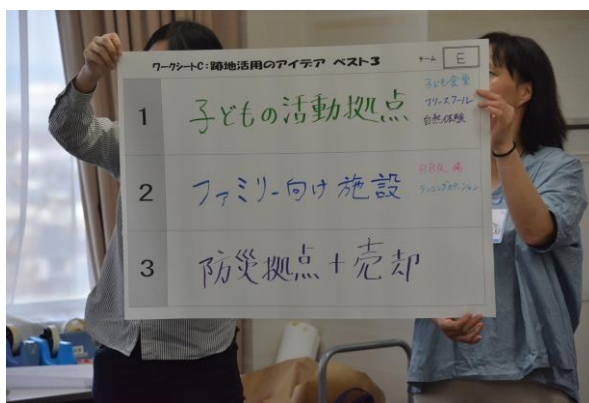
- 四季を通して自然を楽しみながら五条川のウォーキング・ランニングを楽しめる
- ちょうど良い田舎（自転車に乗りやすい、挨拶ができる、公園がいっぱい）
- 水がおいしい
- コンパクト
- 車がなくても暮らせること
- 安心・安全で交通アクセス抜群
- 桜・鯉のぼり・山車がマッチングしているまち
- 全国どこに行くにも便利（総合的な交通の便の良さ）
- 人、まちおこし、公園



<各グループのアイデアベスト3>

(2) 旧学校給食センター跡地活用 グループ押しアイデアベスト3 (1日目:午後)

Aグループ	Bグループ
① 小さな森 美術館 ② 小さな森 ウォーキング広場 ③ 下流を助ける! 貯水タンク&ポンプ	① 川の駅 ② 五条川の公園ネットワーク ③ グラウンドゴルフ・保育園・病院
Cグループ	Dグループ
① 食事のできる憩いの場 ② スポーツ・運動場 ③ カルチャーセンター系	① 健康増進のための憩いの場 ② 学びの場 ③ 条件付きで売却・賃貸
Eグループ	
① 子どもの活動拠点 ② ファミリー向け施設 ③ 防災拠点・売却	



<アイデアベスト3発表の様子>

(3) 跡地活用提案のまとめ及び2027年暮らしのスケッチ (物語) (2日目)

跡地活用提案のまとめ 1

1. 施設等の名称	～エイドステーション～ い～わくんパーク								
2. 利用対象者 * 誰の利用を主ターゲットとした施設なのか?	全年齢対象 グランドゴルフ ランニング ボルダリング ウォーキング								
3. 目的 * 何のため、どのような地域課題やニーズを解決するために必要なのか。	市民の健康増進 と ふれあいとコミュニケーション								
4. 整備内容 * 整備する施設設備等の具体的内容 (屋内施設・屋外施設)	<table border="0"> <tr> <td>〈屋外〉</td> <td>〈屋内〉</td> </tr> <tr> <td>・グランドゴルフ場 (人工芝)</td> <td>・1F: シャワールーム、更衣室、自動販売機</td> </tr> <tr> <td>・ボルダリング場</td> <td>・2F: 事務・管理室</td> </tr> <tr> <td>・藤棚 (南側)</td> <td></td> </tr> </table>	〈屋外〉	〈屋内〉	・グランドゴルフ場 (人工芝)	・1F: シャワールーム、更衣室、自動販売機	・ボルダリング場	・2F: 事務・管理室	・藤棚 (南側)	
〈屋外〉	〈屋内〉								
・グランドゴルフ場 (人工芝)	・1F: シャワールーム、更衣室、自動販売機								
・ボルダリング場	・2F: 事務・管理室								
・藤棚 (南側)									
■事務棟のあり方 * 解体撤去 or 有効活用 (どのような活用が考えられるか?)	基本的には有効活用だが、全体計画をみて柔軟に対応								
5. 管理・運営主体 * 公設公営 or 公設民営 or 民設民営 * 民間の場合: どんな事業者	公 設 民 営 公設の理由: 市の計画で予算立てする (安心感)。 民間の理由: 民間の力で失敗なく、効率的に運営してもらう。								
投票結果	17票								



提案1

「2027年暮らしのスケッチ（物語）」 ～エイドステーション～ い〜わくんパーク

<p>朝・午前</p>	<p>休日の朝、天気もよく朝9時頃からおじいちゃん、おばあちゃんたちが、い〜わくんパークのグランドゴルフ場で来月の大会のために真剣な眼差しでボールを打っている。その横では、保育園児がとびつくようにボルダリングの壁をスパイダーマンのようによじ登ったり、鬼ごっこをしている。</p> <p>藤棚の下では、地域のお年寄りとランニングして汗を流した後の若者が初対面なのに和気あいあいと話している。</p>
<p>昼・午後</p>	<p>おだやかな昼時に、孫と一緒に五条川の沿道を自転車に乗りながら、い〜わくんパークに出かけると、近所のおじいちゃん、おばあちゃんが藤棚の下の休憩所でお弁当を広げています。グランドゴルフを終えた町内会の方々がその横を自転車に乗って帰って行きます。</p> <p>そうすると、着替えの済んだ若者たちがボルダリングの壁に向かって歩いていきます。なんと気持ちの良い昼下がりの一日だろう。</p>
<p>夕方</p>	<p>お陽様が西に傾く頃、犬の散歩でい〜わくんパークを歩いていると、ボルダリングやウォーキングをしながら、若い人が汗を流して元気よく遊んだあと、シャワーをあびたり、お茶でも飲んで休憩している光景は楽しそう。</p>
<p>夜</p>	<p>友人と夜桜を見ていたら、親子連れも藤棚で休憩しながら歩いています。</p>



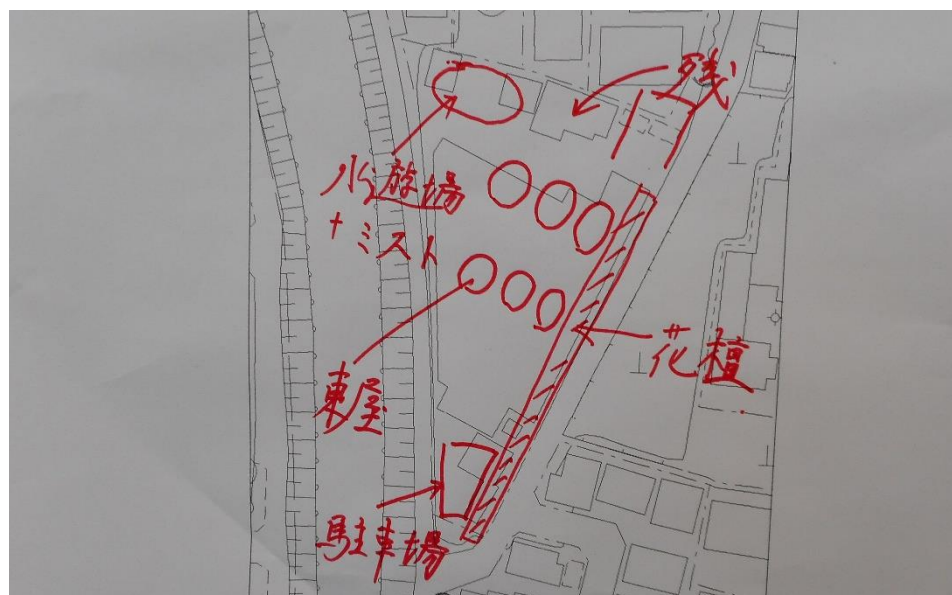
<提案内容の発表の様子>



<2027暮らしのスケッチの発表の様子>

跡地活用提案のまとめ 2

1. 施設等の名称	水辺のバーベキュー広場
2. 利用対象者 * 誰の利用を主ターゲットとした施設なのか？	市内・市外・多世代の方 ※原則 No Car ・岩倉駅よりレンタサイクル、石仏駅より徒歩5分、身体の不自由な方の駐車スペースのみ設置する。
3. 目的 * 何のため、どのような地域課題やニーズを解決するために必要なのか。	四季を通じて家族や仲間を楽しめる広場 地産地消 手ぶらでBBQができます。(野菜や肉の販売)
4. 整備内容 * 整備する施設設備等の具体的内容(屋内施設・屋外施設)	<ul style="list-style-type: none"> ・屋根付きBBQ場(東屋を整備) ・無煙ロースターを設置(周辺の住宅への配慮)→NGの場合は、調理室の整備も検討 ・五条川河岸の整備→子どもが水遊びができるような ・花壇の設置(道路側)
■事務棟のあり方 * 解体撤去 or 有効活用(どのような活用が考えられるか？)	<ul style="list-style-type: none"> ・有効活用する。(管理人、用具の保管、シャワー室) ・調理室
5. 管理・運営主体 * 公設公営 or 公設民営 or 民設民営 * 民間の場合: どのような事業者	公 設 民 営 理由: 市民の意見が反映される。利益優先にはしない。
投票結果	15票



提案2

「2027年暮らしのスケッチ（物語）」

水辺のバーベキュー広場

春	<p>春、桜のつぼみも膨らみかけた3月の土曜日に、会社の歓送迎会がBBQをしなが ら行われています。無煙ロースターなので臭いもなく快適です。</p> <p>桜まつりの頃には、お正月しか帰れなかった、東京から息子が孫を連れて帰ってき ました。家族で桜の下でBBQをしています。</p>
夏	<p>朝、小学生がラジオ体操を終えて自由研究を行い、水辺で遊んでいます。</p> <p>休日、大人同士の仲間や家族で水辺のバーベキュー場で焼き肉。子どもは水辺やミ ストの広場ではしゃいでいます。</p> <p>夕方、仕事終わりの人たちやお年寄りが水辺公園で一日の疲れを癒すように、涼ん でいます。</p>
秋	<p>おだやかな秋晴れのお昼前、パパとママがバーベキューの用意をしています。子ど もたちははしゃいで走りまわっています。おばあちゃんは広場の花壇で来春に咲くパ ンジーの苗とチューリップの球根を植えています。</p> <p>おじいちゃんはどこでしょう？</p> <p>孫たちの元気な声を聞きながら缶ビール片手にすっかりごきげんさんです。</p>
冬	<p>子ども会・スポーツ少年団・仲間10人</p> <p>水辺のバーベキュー広場の花壇で花を見ながら調理場で作った芋煮の鍋を囲んで楽 しんでいます。</p> <p>他の日には、餅つきをして多種の餅を作って食べました。</p>
四季を 通じて	<p>春は五条川辺りをウォーキングしている市民が、一時の休息を求めてバーベキュー 広場で水分の補充をしています。一方で、家族連れがバーベキューを楽しんでいます。</p> <p>夏は家族連れが涼を求めて、水遊び場で楽しんでいます。夏休み中の若者がバーベ キューを楽しんでいます。</p> <p>秋は一刻桜の紅葉を楽しむウォーキングの市民が花壇の花々を愛でています。</p> <p>冬は子ども連れや子ども会が餅つき、バーベキューを楽しんでいます。</p>



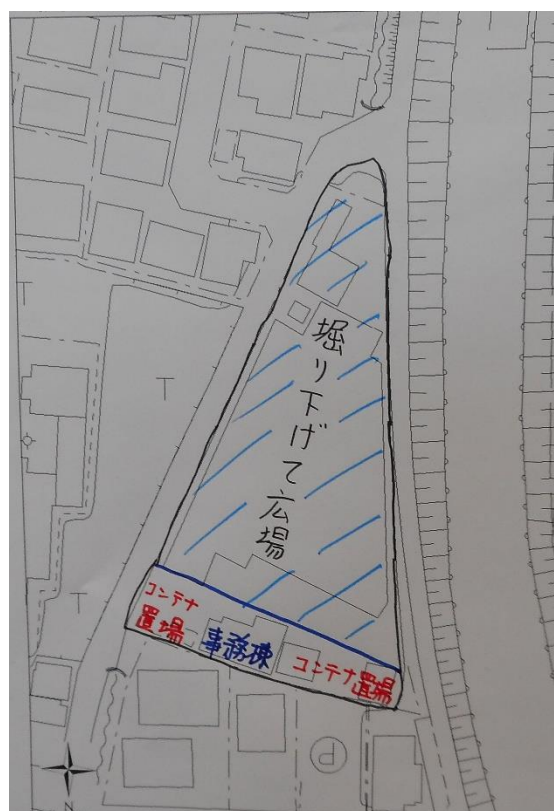
<提案内容の発表の様子>



<2027暮らしのスケッチの発表の様子>

跡地活用提案のまとめ 3

1. 施設等の名称	いわから北防災広場
2. 利用対象者 * 誰の利用を主ターゲットとした施設なのか？	地域の多様な市民
3. 目的 * 何のため、どのような地域課題やニーズを解決するために必要なのか。	防災機能を備える多機能広場 五条川小学校のサブ機能
4. 整備内容 * 整備する施設設備等の具体的内容（屋内施設・屋外施設）	<ul style="list-style-type: none"> • 防災用コンテナ • 掘り下げタイプの調整池（約50cm～100cm） • 平時は多目的広場（盆踊りなど）
■事務棟のあり方 * 解体撤去 or 有効活用（どのような活用が考えられるか？）	<ul style="list-style-type: none"> • 防災用倉庫として転用（ブルーシート等の資機材の保管）
5. 管理・運営主体 * 公設公営 or 公設民営 or 民設民営 * 民間の場合：どんな事業者	市と地域
投票結果	15票



提案3

「2027年暮らしのスケッチ（物語）」

いわくら北防災広場

春	<p>春の五条川で皆が桜観賞をし、日向ぼっこします。入学式の帰りに桜の下で、記念写真を撮り、休日には桜を見ながら食事を楽しみます。</p> <p>春には梅雨、台風にそなえて子どもたちの水難訓練を実施します。</p>
夏	<p>夏、通常はいわくら北防災広場の多目的施設で、一家の交流（盆踊り等）をし、夏の大雨時は親子の命の絆の確認をして北防災広場の利活用を！</p>
秋	<p>防災の日、朝から子どもたちと自宅から、いわくら北防災広場まで歩きました。広場までは10分ほど。避難経路を確認でき、少し安心できました。</p> <p>非常食を食べてみて、おいしくて驚きました。</p>
冬	<p>ある冬の朝、ご夫婦が白い息を吐きながら、広場で体操をしています。五条川沿いの散歩の途中でしょうか。お元気そうです。また、別の日に雪の降った朝には、子どもたちが大喜びで雪だるまづくりや雪合戦をして遊んでいます。散歩途中の犬も大喜びです。</p>
四季を通じて	<p>一年中、子どもたちや老人、若者、男女を問わず多目的広場に集まり、笑い声が聞こえます。</p> <p>災害時は、近所の人が集まり、訓練をした時のように協力して災害対策をしています。</p>



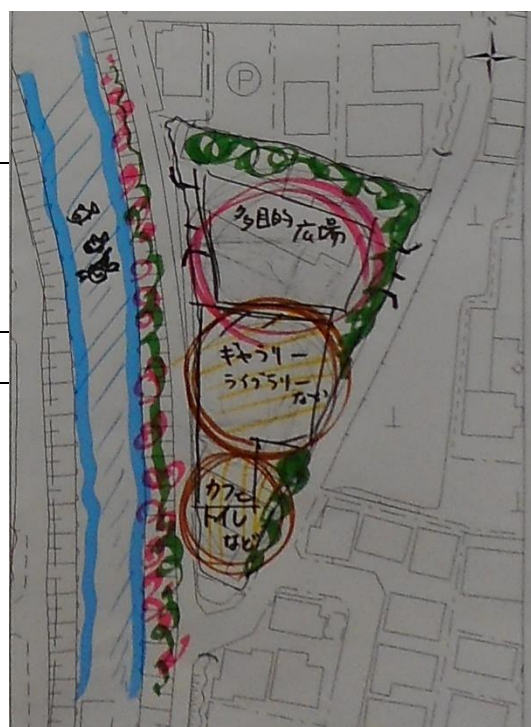
<提案内容の発表の様子>



<2027 暮らしのスケッチの発表の様子>

跡地活用提案のまとめ 4

1. 施設等の名称	いわくら（学び）広場
2. 利用対象者 <small>* 誰の利用を主ターゲットとした施設なのか？</small>	<p style="text-align: center; font-weight: bold;">全ての人</p> <ul style="list-style-type: none"> • 世代を問わず、岩倉市民も市民以外も利用できる。 • ただし、アクセス手段は車以外で（徒歩、自転車等） • ハードルを低く、全ての人に参加しやすくする。
3. 目的 <small>* 何のため、どのような地域課題やニーズを解決するために必要なのか。</small>	<p style="text-align: center; font-weight: bold;">岩倉をよく知り、誇りに思える。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 子どもたちや市外の人たちが一目で岩倉市を知ることができる。 • 全ての世代の人が参加し、協働できる。
4. 整備内容 <small>* 整備する施設設備等の具体的内容（屋内施設・屋外施設）</small>	<p style="text-align: center; font-weight: bold;">多目的・フレキシブルで開かれた施設</p> <ul style="list-style-type: none"> • 岩倉市をPRする常設のギャラリー • オープンなスペースで、コンサート市民ギャラリー、文化サークル、同窓会、老人会、結婚式などイベント各種。子どもの遊び場にもする。 • 尾北自然歩道、対岸への橋、155号のアンダーパスなど周辺アクセスの整備を同時に進める。 • お寺、保育園、老人福祉施設など地域の団体などとコラボ・タイアップして利用を促進する。 • 多目的トイレ、駐輪場、シルバーカー置き場を設置する。 （八剣児童遊園は寺に返還する（駐車場にする）などして、）児童遊園の機能をこちらに持ってくる。） • 受益者負担など収益面も考慮する。
■事務棟のあり方 <small>* 解体撤去 or 有効活用（どのような活用が考えられるか？）</small>	<ul style="list-style-type: none"> • 解体撤去
5. 管理・運営主体 <small>* 公設公営 or 公設民営 or 民設民営</small> <small>* 民間の場合：どんな事業者</small>	<p style="font-size: 1.2em; font-weight: bold;">公設公営</p> <p>（一部、民営の可能性あり）</p>
投票結果	13票

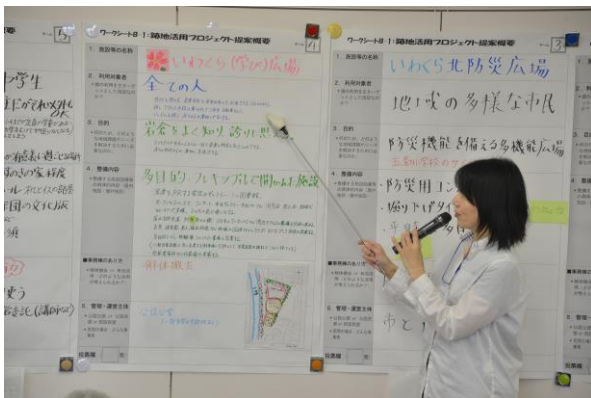


提案4

「2027年暮らしのスケッチ（物語）」

いわくら（学び）広場

<p>朝</p>	<p>春の桜の開花にはまだ早いよく晴れた朝、私たちによく似た老夫婦が犬を連れて五条川の堤を仲良く散歩しています。私たちみたいな老人には、いわくら広場の多目的トイレが助かります。</p> <p>新入生がいわくら広場の安全な集合場所で楽しそうに談笑しています。午後にはいわくら広場でクラシックの生演奏を聴きにいきます。</p>
<p>昼</p>	<p>保育園の子どもたちが休憩をして、遊んでいます。五条川沿いの広場の一角で、野立ての会が行われ、ランチ帰りのママたちがギャラリーの子どもたちの作品を観ています。お料理教室の料理の香りがただよってきます。桜の春の広場の昼下がり。</p>
<p>夕方</p>	<p>夕方の学校のチャイムがなる中、小学生の子どもたちが遊び場でお母さんのお迎えを遊びながら待っています。その横で部活帰りの高校生がスマホチェック！！</p> <p>カフェでは五条川沿いをジョギングしている人や買い物帰りの主婦がちょっと一休み中。ギャラリーでは友人が描いた絵を夫婦で鑑賞。</p> <p>段々と暮れていく夕日を見つめて、うっとり！！</p>
<p>夜</p>	<p>屋内ホールでは、文化サークルの人たちがヨガや読書会の活動を楽しんでいます。ミニ図書館では、仕事帰りのOLがコーヒーを飲みながら、自己啓発の資料探しをしています。屋外のテラスと広場では、夕食を済ませた親子が星空や川面の月の光を眺めています。</p> <p>ときには、文化サークルや老人福祉施設とタイアップして、お祭りやお月見コンサート、クラシックの生演奏、ジャズコンサート、ランニング教室、講演会、お話し会、お料理会など様々なイベントが開かれ、市内外の人たちが集います。</p>



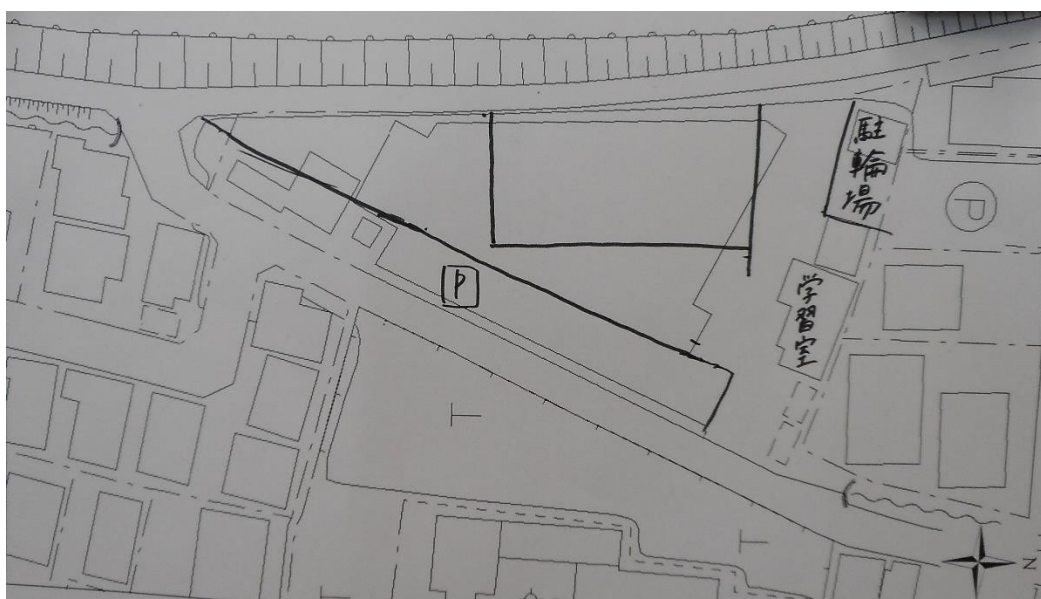
<提案内容の発表の様子>



<2027暮らしのスケッチの発表の様子>

跡地活用提案のまとめ 5

1. 施設等の名称	子どもの学び舎
2. 利用対象者 * 誰の利用を主ターゲットとした施設なのか？	小学校高学年～中学生 働くお母さんの子どもが主対象だがそれ以外も OK
3. 目的 * 何のため、どのような地域課題やニーズを解決するために必要なのか。	<ul style="list-style-type: none"> • 高学年の子どもの居場所が少ない（小4までが定員の放課後児童クラブ（学童保育）がある。低学年向けで物足りなくなる） • 子どもが一人で家にいるとゲームやネットばかりしてしまう。 • 習い事の送迎が困難 ↓ <p style="text-align: center;">放課後に高学年の子どもたちが有意義に過ごせる場所</p>
4. 整備内容 * 整備する施設設備等の具体的内容（屋内施設・屋外施設）	<p style="text-align: center;">多目的・フレキシブルで開かれた施設</p> <ul style="list-style-type: none"> • 屋内施設：2階建て、くすの木の家程度 • 例えば、調理室、多目的ホール、机とイスの部屋 • イメージとしては、スポーツ少年団の文化版（例えば、料理や工作、ダンス、手芸などのプログラム） • 駐車場・駐輪場は必須。
■事務棟のあり方 * 解体撤去 or 有効活用（どのような活用が考えられるか？）	<ul style="list-style-type: none"> • 学習室にする 有力 • つぶしてフラットに使う
5. 管理・運営主体 * 公設公営 or 公設民営 or 民設民営 * 民間の場合：どんな事業者	<p style="text-align: center;">基本は公設公営 一部民営委託（講師など）</p> <p style="text-align: center;">※民間の例⇒放課後 NPO アフタースクール</p>
投票結果	17票



提案5

「2027年暮らしのスケッチ（物語）」 子どもの学び舎

<p>朝・午前</p>	<p>平日の朝、小学生の子どもたちが集団登校の待ち合わせ場として、駐輪場あたりに集まっています。</p> <p>子どもたちが登校し学校で勉強している頃、不登校の子が学習塾で勉強しています。同じころ、多目的ホールでは、近所の主婦が集まっています。小さな子を遊ばせながら、お菓子を持ち寄って、談笑しています。子連れで行ける喫茶店代わりに使っているようです。</p>
<p>昼</p>	<p>昼前、地域の方、ご高齢の方が調理室に集まってきます。皆で楽しくごはんを作り始めました。皆で食べるごはんは一人よりずっとおいしいです。また、別の部屋ではボランティアの講師さんが夕方からやって来る子どもたちの顔を思い浮かべながら、子どもたちの講座のための準備をしています。</p>
<p>夕方</p>	<p>学校が終わった小学生やファミリーサポートで送ってもらった子どもが、料理講座やダンス講座など自分の希望している講座にいき、様々に遊んでいます。教室に参加していない小学生も自分の宿題を持ってきてボランティアの人と一緒に勉強を学んでいます。中学生も学校が終わって静かな学習室で集中して勉強に取り組んでいます。その他にも空いている部屋で友達と卓球をするなどして、小・中学生が有意義な夕方を過ごしています。</p>
<p>夜</p>	<p>夜、施設のエントランスでは講座の終わった子が子ども同士、歩きや自転車で帰っていったり、親の迎えを待つ子が友達とおしゃべりしながら待っています。親が迎えに来た子は今日の講座で何をしたか楽しそうに話をしています。今日の講座で焼いたクッキーを家へ持ち帰って、夕食のデザートに食べるようです。皆、明日は何をするのか楽しみに帰宅しているようです。</p>
<p>時間を問わず</p>	<p>夏休み、テスト期間など（もちろん夕方～夜も！）中学生、高校生たちが学習室で勉強しています。一方、調理教室では、親が働いている家庭の子どもがお料理講座を楽しんでいます。</p> <p>窓際の展示スペースに飾られた手芸や工作講座で作った作品を近所の方や子どもを迎えに来た親が観賞しています。</p>



<提案内容の発表の様子>



<2027 暮らしのスケッチの発表の様子>

跡地活用提案のまとめ 6

1. 施設等の名称	五条川プロムナード（遊歩道）
2. 利用対象者 * 誰の利用を主ターゲットとした施設なのか？	健康増進したい人 ウォーキング・ランニングをする人
3. 目的 * 何のため、どのような地域課題やニーズを解決するために必要なのか。	五条川を活用した年齢や体力に応じた健康づくりを目的により多くの市民が利用できる健康づくりの拠点として
4. 整備内容 * 整備する施設設備等の具体的内容（屋内施設・屋外施設）	<ul style="list-style-type: none"> <li style="width: 50%;">• きれいなトイレ <li style="width: 50%;">• Café <li style="width: 50%;">• 足湯 <li style="width: 50%;">• 自動販売機 <li style="width: 50%;">• シャワー室 <li style="width: 50%;">• バーベキュー場 <li style="width: 50%;">• 畳の休憩室 <li style="width: 50%;">• レンタサイクル <li style="width: 50%;">• ロッカー <li style="width: 50%;">• ポールの貸し出し <li style="width: 50%;">• 駐輪場 <li style="width: 50%;">• 駐車場（バス・障害者・緊急車両用）
■事務棟のあり方 * 解体撤去 or 有効活用（どのような活用が考えられるか？）	• 有効活用 健康管理室として活用
5. 管理・運営主体 * 公設公営 or 公設民営 or 民設民営 * 民間の場合：どんな事業者	岩倉市が中心になって民活で
投票結果	16票



＜提案内容の発表の様子＞



＜2027暮らしのスケッチの発表の様子＞

提案6

「2027年暮らしのスケッチ（物語）」

五条川プロムナード

<p>朝・午前</p>	<p>朝は高齢者が最も輝いている時間です。今日も早朝から老夫婦、近所の散歩仲間の女性たち、求道者のごとくひたすら前を見てジョギングしている中年男性がみられます。</p> <p>中でも、定年を1週間後に控えた中年夫婦が数十年来の習慣となっている五条川を散歩した後で、プロムナードカフェに立ち寄り、コーヒーを飲みながら定年後の生活について語りあっています。</p> <p>目を前にやると、サイクリングをしている家族、ランニングを終えた後、プロムナード前でストレッチをしている人が…。</p> <p>春のとある休日の始まりでした。</p>
<p>昼</p>	<p>昼になると、五条川プロムナードでは、老夫婦や外国人、隣のおばあさんなど多くの人たちがランチをたしなみながら「桜の芽はどの程度ふくらんだかな？」と観賞したり「今日の夕食は何かよいかな？」などと話し合っています。そのベンチの前を犬を連れた方がウォーキングに精を出し、外国人の若者がサイクリングで通過していきます。</p>
<p>夕方</p>	<p>沈む夕日を背にして、ニコニコしながら足元を見ている隣の家のおばさんが私の目の前にいました。なんでニコニコしているか聞いてみると、たくさんの花々が咲いているから、心が弾んでいるんだよと教えてくれました。そんな話をしている横で小学生の男の子たちが五条川プロムナードの広場で一人は犬に追いかけて、もう一人はその犬を追いかけてケラケラと楽しそうに笑っています。</p> <p>広場のわきの女友達であろう二人がウォーキングの休憩で足湯に入りながら、コソコソ話をしながらニコニコしています。その奥のカフェでも高校生がコソコソ話をしています。耳を傾けてみると先生のグチをバカ笑いしながら話している。</p>
<p>夜</p>	<p>休日出勤だったサラリーマンが五条川プロムナードプロムナードのロッカールームでウォーキングウェアに着替えています。</p> <p>五条川沿いを1時間ほどランニングした後、今日の夜ごはんは何かと楽しみにしながらシャワーを浴びて帰宅していった。</p>
<p>昼、夜 関係なく</p>	<p>ある晴れた休日、五条川沿いを散歩している夫婦を何組か見かけた。ふだんは各々忙しく過ごしているが、たまには近場でゆっくり過ごしているのだろうか。</p> <p>五条川プロムナードでは、愛犬の散歩をしていた夫婦が愛犬ともども、お茶を楽しんでいた。</p> <p>ある夫婦は、健康づくりのための相談をし、お互いの健康を気遣い合っていた。</p>

跡地活用提案のまとめ 7

1. 売却方法・時期	公売（オークション）・即 <small>※総合評価方式：地域にとって最も有利な者を落札者とする。</small>
2. 売却条件 <small>*売却後の敷地活用条件、売却先の条件など</small> <small>*売却する部分（全部 or 大半 or 一部）</small>	<p style="text-align: center;">住宅・南側は一部残す</p> <ul style="list-style-type: none"> • マンションは、近隣住民にとって不都合？ • 戸建てが良い（目標：20戸） • 南側は児童の登下校の集合場所
■事務棟のあり方 <small>*解体撤去 or 有効活用（どのような活用が考えられるか？）</small>	解体撤去 （耐久性を考えて）
3. 売却の効果 <small>*『さきまち』発想で考えた場合、将来まちにどのような効果をもたらすのか。どれぐらいの経済効果・歳入面の効果があるか。）</small>	<ul style="list-style-type: none"> • 人口流入（80名程度、若者・若年世帯に定住してもらう。少子高齢化対策として） • 財政補填（1億円+税収〔売却費1億9千万円ー解体費7千5百万円〕）
4. 売却において懸念されること、売却に当たって留意すべき点	<ul style="list-style-type: none"> • 住宅地として維持できるかどうか（用途転用されてしまわないか。）
5. 売却で得られた歳入の活用方策	議会に委ねます。
投票結果	12票



提案7

「2027年暮らしのスケッチ（物語）」

跡地売却

春・昼	<p>四大家族や孫の手をつないだ腰の曲がった老婆が五条川畔の木のぬくもりのある開放的な家の庭や軒先で「日本のさくら名所百選」の五条川桜が乱舞する花びらを追いかけてたり、地上に降った小さな一片を拾い集めて絵を描いたりしているほほえましいシーンに心が揺れ動きました。</p>
夏	<p>若い夫婦が五条川沿いで散歩やジョギングをしていると、小学生くらいの子どもさんがセミ採りや水辺で遊んでいる光景があり、とても楽しいです。</p>
秋	<p>季節は秋、スポーツの秋です。お年寄り夫婦は五条川で秋風を感じながら、ウォーキング、小学生の子どもがいる家族は全員でサイクリングをしています。幼い子どもがいる家族では、新しい公園で遊んでいます。皆、いきいきスポーツの秋を楽しんでいます。</p>
冬	<p>親子と子どもたちがフワフワに積った雪をかき集め、雪だるまを作っています。私は、エージシュートを達成し、喜びの余りジョギングをする。そして、走る私を前の家の母子が2階のベランダで日向ぼっこをしながら眺めています。</p>
季節を問わず	<p>朝には、部活の朝練習へ行くために五条川沿いの通学路を木の香りと川のせせらぎの音を感じながら、自転車で駆けていきます。そして、お昼下がり、お気に入りの木のぬくもりのある家の縁側で、仲のよい老夫婦が外を眺めながら、岩倉の長年の暮らしについてお茶を飲みながらおしゃべりしています。</p> <p>夕方になると、集会場で遊んでいた小学生の子どもたちが「また明日」という声で、それぞれの家に帰っていきます。日が落ちた夜には、サラリーマンたちが一番落ち着く家に帰っていきます。</p>



<提案内容の発表の様子>



<2027 暮らしのスケッチの発表の様子>